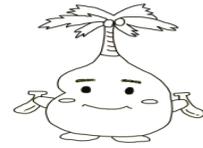


大王やし



発行所 台中日本人学校（台中市日僑学校） 電話 04-2567-2079

ホームページ <http://tjs.ehosting.com.tw/>

e-mail tjs97@ms18.hinet.net

FAX 04-2567-2085

921 大地震から 25 年

校長 原 宏次

みなさんも今から 25 年前にこの台湾で起こった大地震のことを聞いたことがあると思います。921 大地震は、1999 年 9 月 21 日午前 1 時 47 分 18 秒に、台湾中部の南投県集集镇付近を震源として発生したマグニチュード 7.6 の地震です。この地震の被害は、死者 2,415 人、負傷者 11,305 人、行方不明者 29 人という大変大きなものでした。ここ台中市でも震度 6 の揺れが 1 分以上続き、多くの被害が出ました。この台中校もこの地震の 1 分間の揺れで、運動場には亀裂が走り、校舎の 1 階部分は押しつぶされてしまいました。



【創立 30 周年記念誌より転載】

台中に暮らす日本人の子どもたちの学ぶ場所が、一瞬にして崩れ、使えなくなってしまいました。では、どうして今、台中日本人学校でみなさんが学んでいるのでしょうか。

それには、多くの人たちの一生懸命な気持ちと子どもたちのことを想う優しさが関係しています。

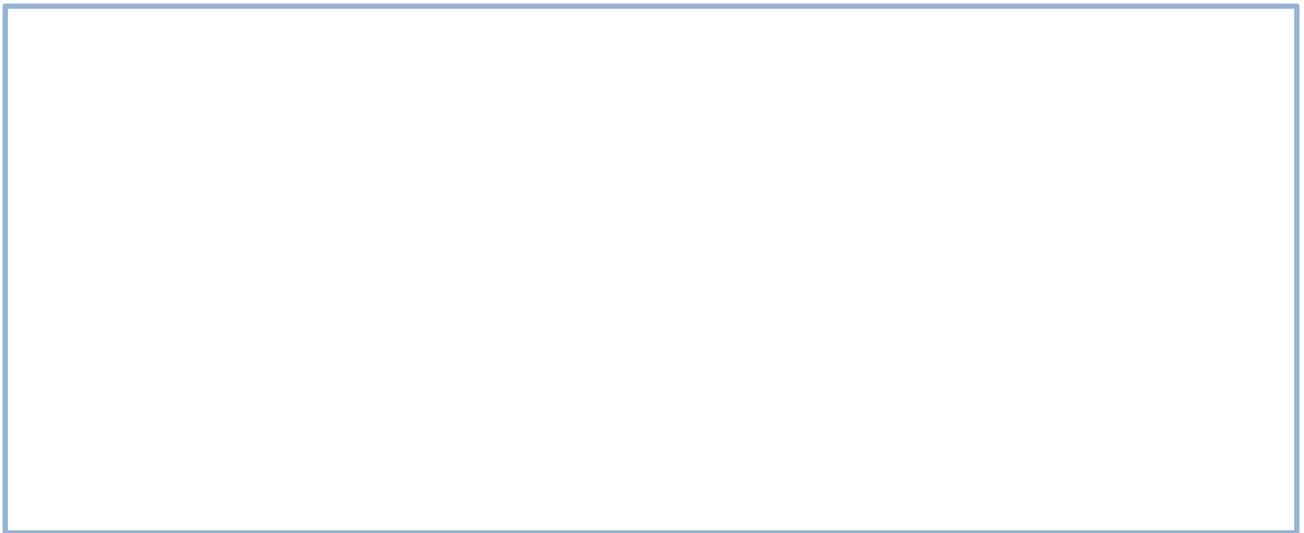
地震の直後の学校の様子がわかる文章です。

「携帯電話で安否確認を試みながら、停電の暗闇の中、道路の通行規制に遭いながら、夜明けころ、学校にたどり着いた江原校長(震災の時の校長先生)は、学校の姿を目の当たりにして茫然となりました。涙をポロポロ流す教員もいました。しかし、悲しみに浸ってはいられません。まずは、教職員・児童生徒の安否確認です。電話がなかなかつながらず、教員たちは手分けして家や避難所をまわって、安否を確認しました。今回の地震では、幸いにも、台中日本人学校の児童生徒とその家族、教職員とその家族も全員無事でした。そうするうちに、避難所に児童生徒・家族を訪れる江原校長は、子どもたちから、「学校はこわれちゃったの?どうするの?」、「23日の水泳大会はどうするの?」などと問いかけられ、学校再建の意志を固くしました。」

【文科省に記録されていた文章より抜粋】

このように困っていた台中日本人学校に、すぐに多くの台湾の方々より温かい手が、次々と差し延べられたのです。

地震発生からわずか2日後の9月23日に、エンゼル幼稚園の張理事長先生より、教室提供のお申し出をいただき、10月11日よりエンゼル幼稚園で学校を再開することができるようになりました。日本人学校の児童生徒は、学年ごとに一教室用意していただきました。日本人学校が使わせていただく園舎の入り口には「台中日本人学校」と大書した横額が掲げられ、回りを飾りつけてくれていました。幼稚園の先生たちの手づくりによる気持ちのこもったプレゼントでした。また、移転の日には、久しぶりの学校にニコニコと笑顔満面はつらつと登校してきた児童生徒を園児全員が並んで拍手して迎えてくれたそうです。



【創立30周年記念誌より転載】

また、同じころ、10月7日に、李登輝元総統(玄関にある「台中市日僑學校」の額を書いていた方です)が、被災した日本人学校の視察に訪れてくださいました。そこで江原校長から、新校舎建設用地の確保へのご配慮のお願いをさせていただいたところ、快く「わかった」とうなずいてくださったそうです。

その当時の李登輝元総統の震災日記には、「10月7日の午後5時頃、太平市の日本人学校を視察。同校の被害状況は非常に深刻だが、教師と生徒、父母は冷静に対処している。かれらは、再建問題

について協力を求めている。総統府秘書長に対し、ただちに台湾糖業会社と連絡を取り、同校の移転地問題の解決に協力するよう指示する」と記されていました。こうして李登輝元総統の指示のもと、一気に日本人学校の新校舎建築が進んでいきました。

その後、921大地震からわずか半年で、新校舎建築工事が開始されました。この新校舎建築に際しては、台湾日本人会のみならず、学校運営員会のみならず、日本の国会議員や文部省への陳情を重ね、再建への国費負担分を確保してくださいました。また、台湾に進出している多くの日系企業のみならず、多額のご寄付をいただき、現地負担分も確保していただきました。



2000年4月から2001年2月まで使用していた仮校舎 【創立30周年記念誌より転載】
(今の運動場の一段下のところに残っているプレハブは、仮校舎だった建物です)

このように、921大地震から、たった半年の間に、本当に多くの台湾の方々や台湾に暮らす日本人のみならず、日本の国内で支えてくださった方々の「子どもたちのために」という一生懸命な気持ちとやさしさに支えられ、台中日本人学校は、現在の姿に再建することができたのです。

今、台中校で過ごしているみなさんには、25年前にこんなに大変な災害に見舞われながらも、世界中の多くの人々に支えられ歩んできた学校であるということを知っておいてほしいと思います。

そして、この多くの方々の気持ちでできた台中校に学ぶみなさんには、ぜひその気持ちを受け取り、身の回りで起こる様々な出来事を「他人事」として傍観するのではなく「自分事」として関わっていけるような人になってほしいと思います。



2001年5月4日
「校舎再建記念式典」
【創立30周年記念誌より転載】



保健だより

台中日本人学校
保健室



こんげつ ほけんもくひょう
今月の保健目標

けがの防止につとめよう。

♥ けがは準備をすることで防げることがあります。

 <p>せんせい せつめい □先生の説明をきいていますか？</p>  <p>□ まわりをよく見えていますか？</p> <p>せんせい はなし →先生の話をよくきこう</p> <p>み まわりを見よう</p>	 <p>すいみん まえ ひ はやね □睡眠… 前の日は早く寝ましたか？</p> <p>しょくじ あさごはん た □食事… 朝ごはんは食べましたか？</p> <p>はいべん… □排便… うんちは出ましたか？</p> <p>けんこう… たいちよう □健康… 体調はいいですか？</p> <p>せいかつ いしき →生活リズムを意識しよう</p>	 <p>うんどうまえ □運動前にストレッチをしていますか？</p>  <p>手の爪・足の爪 短く切って清潔+ケガ予防</p> <p>つめき □爪切りをしていますか？</p> <p>じゅんびうんどう →準備運動をしよう</p> <p>つめき 爪を切ろう</p>
--	---	---

さあ2学期のスタートです！！

しかし…気分が乗らない ☹️ そんなあなたへ ⚠️

<p>「暑いからシャワーだけ…」なんて言わず、ぬるめのお湯にゆっくりつかりましょう。</p>  <p>心身の疲れが取れて、ぐっすり眠れます。</p>	<p>朝ギリギリまで寝ていたいと思いますが、少し余裕をもって起きてみましょう。</p> <p>✗</p> 	<p>暑くて食欲もあまりないかもしれませんが、朝食は必ず食べましょう。</p> <p>少しでも良いので食べましょう。</p> 
---	--	--